# せんごくの里ニュース ふなで

2016年6月　第15号
社会福祉法人大阪福祉事業財団
せんごくの里
発行責任者:所長　永田美子
〒597-0051　貝塚市王子1183-3
TEL(072)437-1075
FAX(072)437-1076

## 新職員紹介

### 村田美香子

以前から福祉のお仕事に興味を持ち、新しい土地に転居した事もあり、福祉の学校に2か月程通い資格を取り、こちらにお世話になる事ができました。

利用者さんの支援は大変な事も多いですが、それ以上に毎日楽しく充実した日々を過ごさせて頂いています。職員の方も良い人ばかりで嬉しく思っています。これからも色々教えてもらいながら頑張りますので、よろしくお願いいたします。

### 南口一則

以前から興味を持っていた福祉業界、特に障害者福祉には想いがあり、せんごくの里で勤務する事を決めました。思い悩む日々も多々ありますが、それ以上に嬉しい事や感動できる事を知りました。精一杯頑張ります。

### 辰巳美和

前職は、高齢者の介護をしていました。でも資格がなかった自分の介護に疑問を持ち、社会福祉・介護技術の知識を学ぶ為に、福祉専門学校に2か月通いヘルパーの資格を取りました。学校の先生に、障害者の支援もあると聞き、一緒に仕事ができたらいいな～と思いました。今は希望していた仕事につけて良かったですが、まだまだわからない事が沢山あり、日々勉強していきたいと思います。

## 今年もきれいな花をありがとう

貝塚市立第四中学校の生徒の皆さんが、今年もきれいなマリーゴールドを植えてくれました。
せんごくの里の花壇が一気に華やいだ雰囲気に包まれました。

## 第60回中央公民館まつり

5月28日（土）、中央公民館まつりに参加しました。ステージで『よさこい』・『船出』合唱を披露しました。白いくものパン・いきいき班の自主製品も販売しました。いひと時を過ごすことができました。ちょっと雨が降りましたが、順番に見学に行き楽しました。

2016年4月、支援学校を卒業したばかりのフレッシュなメンバーが6名も加わり、地域に作業場も増やし、班編成もこれまでになく画期的に再編し新年度がスタートしました。

2月、「せんごくの里5周年を祝う会」では、利用者さんたち一人ひとりの「わたしが主役だよ」の思いが重なり合って、みんなが一つになり、せんごくの里らしいアットホームな催しとなりました。貝塚市長様をはじめ、ご列席頂いた貝塚市の関係諸団体の皆さまには深くお礼申し上げます。

この祝う会を節目に、利用者一人一人の成長・変化、集団のつながりの深まりに感動を覚えたのは私だけではないと思います。

今後更に10年、15年と、日中活動の場面を通じて、その人らしく充実した毎日を紡いでいけるように、ご家族・関係機関と連携して支援に努めたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻の程を宜しくお願い致します。

施設長　永田　美子

# 白いくも わくわく班

藤村さんは白いくものパン製造部門担当として頑張ってくれています。開所から数えると5年半にもなります。いまでは、せんごくの里の昼食のパンを主に担当してくれています。

ロールパン、コッペパン、食パンと厨房からの色々な注文に取り組んでくれています。

水曜日には、福祉センターの販売にも行って元気に「いらっしゃいませー」と声を響かせてくれています。

新利用者や班の異動などもあり、19名の班員でスタートしました。

新たに麻生中作業場も増え2か所に分かれて作業をしています。部屋が変わったり、メンバーが変わったりと初めは戸惑っている方もいましたが、すぐに慣れました。

仕事は主にザルの作業をしています。ザルのシールをなかなか真ん中に貼れなくて試行錯誤しながらも、皆で頑張っています。土曜日や作業のない時は、皆でこすもすの里まで散歩し中庭でバスケットやボール遊び等、楽しく過ごしています。最近ではプランターにホウレンソウや三つ葉などを植えました。収穫がとても楽しみです。



# いきいき班

せんごくの里5周年の式典で、「胸章を手作りで作ろう」と、みんなで生地を選び、作業に取り掛かりました。利用者は「来賓の方に喜んでもらえるかなあ?」と心配しながらも頑張って作ってくれました。

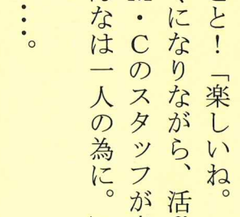
式典当日、胸章を胸にした来賓の方々に、「これ、いいですね!」と言ってもらい心の中でガッツポーズ!!

式典後はマグネットとして新商品の仲間入りをしました。

また、手提げ袋の製作をお願いしたご家族には、お忙しいところ本当にありがとうございました。おかげさまで無事5周年の式典が終わりました。

# 麻生中グループ

新年度になり新しい班編成とともに本格的に麻生中作業場の利用が始まりました。麻生中作業場では今までよりも広いスペースを活用し、利用者の方も集中して作業に取り組める環境を提供することが出来ています。今は作業の合間に散歩に出かけたり、週末には皆でコーヒータイムに取り組んでいますが、今後は給料後にカフェに行くなど皆の作業の目標になるような取り組みも計画していきます。



# 音楽療法 vol.10

ミュージック・ケア（M・C）のお話10回目は、ある日のセッションの様子です。

朝からしんどそうなメンバーさんがいました。気持ちが不安定なのか座るのもイヤで、大きな声を出していました。職員さんが「○○さん、先生来たよ。音楽が始まるよ。」と声を掛けますが耳に届きません。何かが辛いのでしょうが、言葉で表現することができない。M・Cは「音楽を聴く」活動です。ジッとして聴くのではなく、身体を動かしたり楽器を使う事で音楽を聴くのです。「どうしたら音楽を届ける事ができるだろう?」と考えてスタートしました。

その日担当されていた職員さんに「タッピング」で伝えて貰うことにしました。大きな声に負けないよう、とても速いテンポの「クシコスポスト」を使って、音楽に合わせて身体中をタッピングして貰いました。少し驚いた様子でしたが、すぐに大きな声は治まり、周りを見ながら笑顔でリズムを刻み始めました。皆さんもホッとしたのか嬉しそうでした。

必死で関わって下さった職員さんの素晴らしいこと!「楽しいね。一緒にやってみよう。」のメッセージを、声には出さず汗だくになりながら、活動を通して一時間送り続けて下さいました。一緒に参加したM・Cのスタッフが素敵な感想を言ってくれました。「一人はみんなの為に。みんなは一人の為に。」私の経験の中でも特に印象的なセッションになりました。

次回はどんなお話しをしましょうか。お楽しみに…。

## ようこそ！　せんごくの里へ・・・

6名のニューフェイスが、4月に仲間入りしました。
みなさん、よろしくお願いします。